

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 登内敏夫 副委員長 中川 学・野村祐士

幹事 高橋英士・村田政雄 幹事補佐 服部雅晴

◎本研究会は平成 28 年度において参加費が必要になります。

http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/trial2015/trial2015_index.html

を御参照下さい。

日時 7月7日(木) 13:10~17:00

8日(金) 9:15~12:00

会場 小樽市観光物産プラザ(小樽市色内2-1-20. JR小樽駅から徒歩10分. https://www.city.otaru.lg.jp/simin/setu/kankobussan_plaza/)

議題 管理機能, 理論・運用方法論, 及び一般

7日

1. [奨励講演] スループット履歴に基づく高信頼且つ省電力映像配信を実現するバッファ制御
○竹中幸子・金井謙治・甲藤二郎(早大)・村瀬 勉(名大)
2. LTE 端末の電波品質に基づく利用可能帯域推定方式
○高橋英士・小林航生・鈴木敬之・大西健夫・里田浩三(NEC)
3. 仮想化環境におけるパケット処理性能改善手法に関する一考察
○吉田英達・中村 亘(富士通九州ネットワークテクノロジーズ)
4. 管理対象外ネットワークのパケット廃棄検知手法の一検討 ○古谷信司・大松史生(三菱電機)
5. マルチレイヤトランスポートネットワークにおけるパス収容設計エンジンの開発
○門畑顕博・犬塚史一・川上 弥・渡辺 篤・手島光啓・東條 弘(NTT)
6. 故障対応の把握に向けた作業ログにおける複数の対処分岐点の抽出
○渡邊 暁・松尾洋一・渡辺敬志郎・石橋圭介・川原亮一(NTT)
7. Datalog を利用したネットワーク設定変更手順生成 ○山崎智史・登内敏夫(NEC)・田辺良則(鶴見大)
8. 自動構築スクリプトを用いた構成管理情報の活用に関する一考察
○沼田晋作・柏 大・橋本昭二(NTT コミュニケーションズ)
9. システム自動構築スクリプトにおける自動エラー対処法の検討
○神谷法正・柏 大・橋本昭二・沼田晋作(NTT コミュニケーションズ)
10. データの地理的分散管理のための分散 KVS 冗長化手法 ○松田一仁・福山訓行(富士通研)

8日午前

1. アノテーション技術への分散処理適用に関する検討
○土川公雄・増田 健・西川健一・足立洋之・井上 晃・丸山 勉(NTT)
2. Web ベースの業務システムのユーザインタフェース拡張方式
○西川健一・増田 健・足立洋之・土川公雄・井上 晃・丸山 勉(NTT)
3. OpenStack プライベートクラウドによる大規模 OSS の商用化
○岸川雄紀・石居健太郎・吉村一寿・中村 修・大谷知行(ドコモ・テクノロジ)
4. [特別講演] OpenStack Summit Austin における運用管理のホットトピック
○繁田聡一・鈴木和宏(富士通研)
5. [招待講演] IoT 時代に向けたモバイルネットワークアーキテクチャの方向性とコンテキストウェア制御技術
○岩井孝法・小泉清一(NEC)
6. [招待講演] 北海道大学におけるアカデミッククラウドシステムのマネジメント 棟朝雅晴(北大)

【問合先】

ICM 研究会幹事

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

◎<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>